

秋田●角館

角館

ガイドマップ

深い木立ちと、重厚な屋敷構えで知られている角館町は、元和6年(1620)角館地方を領していた芦名義勝によって、造られたものです。三方を山に囲まれ、南の玉川筋によって仙北平野に開いている地形は城下町を形成するため、もともと適している場所であったのです。

町を造るのには、現在の古城山(城跡)を北端として、南に向けて三本の道路を設定し、これを中心に造ったと言われます。それ以前は、この山の北側、つまり現在の町と山をはさんで反対側にあったのですが、地の利、広さを考え、さらに水害や火災というアクシデントもあって、新しい町造りをしたものです。

町の中央部、市役所のある広場は、火除けと呼ばれる場所で、幅25メートル、東の花場山の麓から西を流れる松木内川

北側に位置する武家町は、深い木立ちが覆い、一方、南の町人町は町並みがびっしりと埋めて対照をなしています。町が造られた当時の元和6年(1620)には、武家屋敷250戸、町家420戸と数えられ、明暦2年(1656)に芦名氏断絶の後をうけ、佐竹北家が入部し秋田藩の所領として一門筆頭の城下町を形成していました。以来390年余、町の形は大きく変わっていませんし、特に内町という武家町は道路の幅から曲り角一つまで、そのまま残っています。まさに角館は歴史の生きている町でもあるのです。

角館の武家屋敷通り (内町)

石黒家(有料)
佐竹北家の用人を勤めた家柄。武家の格式を示しながら簡素な佇まいを呈しています。

青柳家(有料)(ハイカラ館)
家屋は奇棟置畳屋根の母屋、薬医門、蔵、塀などで、武家屋敷の建築様式を今に伝えます。

岩橋家(無料)
江戸末期に改造、角館の中級武士の家屋として間取りなど典型的な形を残しています。

松本家(無料)
「烏帽子於也」の著者として知られる須藤半五郎を出した向学の家です。建築年代は幕末期と推定。

河原田家(無料)

藩政時代の建築を踏襲。座敷にはこの地方の書院造りの典型的な様式を残しています。

小田野家(無料)

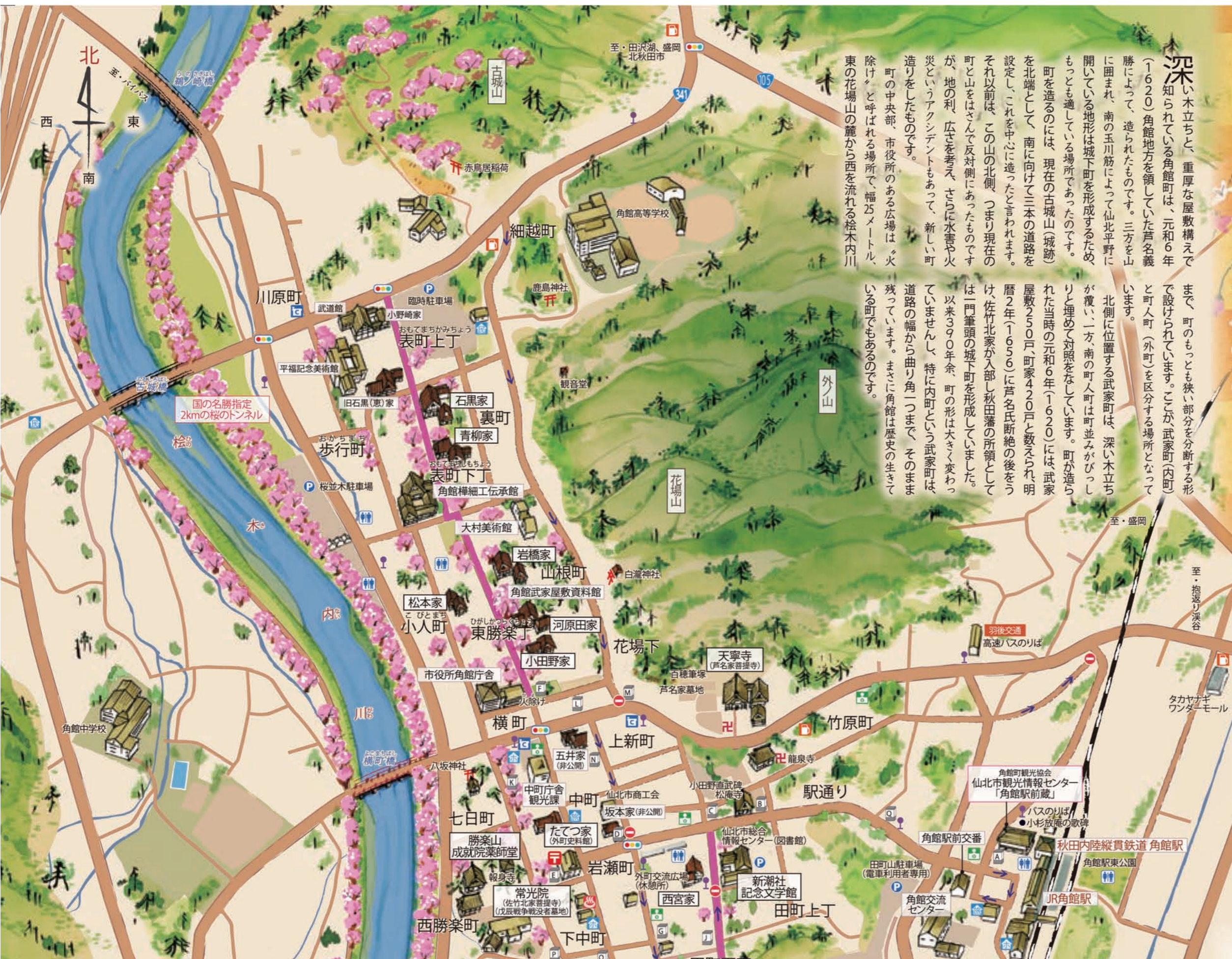
今宮氏の配下から佐竹北家の家臣となった家柄。伝統的な庭園が特徴の中級武士の屋敷です。

角館町平福記念美術館(有料)

平福穂庵、百穂父子の作品を中心に、小田野直武ほか多くの郷土画人を顕彰する美術館です。

角館榊細工伝承館(一部有料)

榊細工は山桜の樹皮を細工して茶筒や硯箱などを作るもの。日本で唯一の技術を伝える伝統工芸品です。館内には榊細工や、佐竹北家にまつわる資料が展示され、製作の実演も行われています。



国の名勝指定
2kmの桜のトンネル

おまちまち
歩行町

角館中学校

角館駅前蔵

JR角館駅